

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

五月のある日、五年二組のけんたは、国語の授業で「英語の生い立ち」について学ぶことになった。けんたは外国の言葉に興味があり、映画やアニメで英語を耳にするたびに、「どうして英語はできたんだろう」と思っていた。授業でその疑問に答えてくれるのかと、胸をわくわくさせて教室に入った。

先生は黒板に「英語の歴史」と書き、世界地図を指しながら話し始めた。「英語は長い時間をかけて生まれた言葉で、いろいろな国の言葉が混ざりあってできたんだよ」と説明すると、けんたの目は大きく見開かれた。昔、イギリスに住んでいた人々は、ケルト語を話していたが、その後、ラテン語や古代ゲルマン語、ノルマン語などが入り混じって、少しずつ今の英語になったという。けんたは心の中で「言葉って生き物みたいに変わっていくんだな」と思った。

授業のあと、先生は小さなグループに分けて、英語の言葉がどのように変化してきたのかを調べる活動をさせた。けんたは友だちのさやかとゆうたと一緒に、古い英単語と今の英語の言葉を比べることにした。たとえば、古い英語では「water」を

「wæter」と書いていたことや、「book」が昔は

「boc」と書かれていたことなど、少しずつ変わっていったことを知り、三人は「なるほど、言葉も生き物みたいに変わっていくんだね」と感心した。

活動を進めるうちに、さやか「どうして英語はほかの国の言葉を取り入れたのかな」と疑問を投げかけた。先生は「人々が他の国と交流したり、戦ったり、交易したりする中で、新しい言葉が必要になったからだよ」と教えてくれた。けんたはその話を聞いて、言葉はただの道具ではなく、人と人をつなぐ大切なものなのだと感じた。

先生は「言葉は使う人の文化や考え方も反映する」と話を続けた。古い英語には、昔の生活や自然、道具の名前がたくさん残っていて、昔の人の

暮らしを知る手がかりになるという。けんたはノートに「言葉は歴史の証拠なんだ」と書き込み、少し背筋が伸びる思いがした。

授業が終わり、けんたは家に帰る道すがら、ふと考えた。「自分が話す言葉も、いつか誰かに残るんだろうか。そう思うと、もっと大切に使わないか」と思った。家に着くと、今日のことをノートにまとめながら母に話した。けんたは「英語も日本語も、長い時間をかけて育ってきたんだ。だから、言葉を大切に使うことって大事なんだ」と言うと、母はにこにこして「けんたがそうやって考えられるのはすごいことだね」と答えた。母はさらに「言葉には、人の気持ちや思いも一緒に伝わるんだよ」と付け加えた。けんたはその言葉を聞いて、自分の思ったことを言葉で表すことの意味を考えた。

その夜、けんたは布団に入りながら、ふとつぶやいた。「言葉の歴史を知ると、自分ももっといろいろな人の気持ちを考えられるかもしれない」。英語の生い立ちを学んだ一日で、けんたの心は少し広がった気がした。言葉を知ること、人とながめる力も育っていくのだと、けんたは静かに思った。次の日から、授業で習った単語や文を覚えるだけでなく、その言葉の背景や意味も調べてみようと思ったのだ。そして、自分の話す言葉も大切に使い、誰かの気持ちを考えられるようになりたいと心の中で決意した。



- (1) 文中にある に入る言葉を本文に合うように
①～④から選び番号を○で囲みなさい。

- ① つまり
- ② ところが
- ③ しかし
- ④ さらに

- (2) 昔の日本で、英語がほとんど話されていなかったのはなぜですか。文章の内容に合うように四十字以内で説明しなさい。

- (3) 次の中から、文章の内容として正しいものを2つ選び番号を○で囲みなさい。

- ① 昔の日本では外国語の勉強が特に盛んで、英語も多く使われていた。
- ② イギリス人やアメリカ人が海外へ進出したことで英語が広まった。
- ③ 英語は今や世界中で共通語として使われる場面がある。
- ④ 英語が日本で学校教育として広く教えられるようになったのは最近のことである。

- (4) 次の出来事を、文章の流れに合うように適切な順番に並び替えなさい。

- ① イギリス人やアメリカ人が世界へ進出したことで英語が広まった。
- ② 英語が日本の学校で教えられるようになった。
- ③ 昔の日本では、ほとんどの人が英語に触れる機会がなかった。
- ④ 外国の人にも気持ちを伝えるための道具として英語が必要だと考える人が増えた。

↓

↓

↓

- (5) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- () 英語はもともとヨーロッパの島国で生まれたことばである。
- () 英語は世界中で話されるようになるまでに、長い年月がかかった。
- () 日本では、明治時代より前から英語が多くの学校で教えられていた。
- () 英語を学ぶことは、世界の人々と気持ちを通わせる力になると書かれている。

- (6) 筆者が英語を「ことばの力」と考える理由を、文章の内容に合うように五十文字以内でまとめなさい。

- (1) 文中にある に入る言葉を本文に合うように
①～④から選び番号を○で囲みなさい。

- ① つまり
② ところが
③ しかし
④ さらに

- (2) 昔の日本で、英語がほとんど話されていなかったのはなぜですか。文章の内容に合うように四十字以内で説明しなさい。

解答例
昔の日本は外国との交流が少なく、英語を使う必要や機会がほとんどなかったから。

- (3) 次の中から、文章の内容として正しいものを2つ選び番号を○で囲みなさい。

- ① 昔の日本では外国語の勉強が特に盛んで、英語も多く使われていた。
② イギリス人やアメリカ人が海外へ進出したことで英語が広まった。
③ 英語は今や世界中で共通語として使われる場面がある。
④ 英語が日本で学校教育として広く教えられるようになったのは最近のことである。

- (4) 次の出来事を、文章の流れに合うように適切な順番に並び替えなさい。

- ① イギリス人やアメリカ人が世界へ進出したことで英語が広まった。
② 英語が日本の学校で教えられるようになった。
③ 昔の日本では、ほとんどの人が英語に触れる機会がなかった。
④ 外国の人にも気持ちを伝えるための道具として英語が必要だと考える人が増えた。

③ ↓ ① ↓ ④ ↓ ②

- (5) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- () ○ () 英語はもともとヨーロッパの島国で生まれたことばである。
() ○ () 英語は世界中で話されるようになるまでに、長い年月がかかった。
() × () 日本では、明治時代より前から英語が多くの学校で教えられていた。
() ○ () 英語を学ぶことは、世界の人々と気持ちを通わせる力になると書かれている。

- (6) 筆者が英語を「ことばの力」と考える理由を、文章の内容に合うように五十文字以内でまとめなさい。

解答例
英語は世界の人々と気持ちや考えを伝え合う道具であり、相手を理解し自分の思いを届ける力になるから。